

**農場たより 有機培地水耕開発実験真っ盛りです！**

お花見も、終わり暑さ対策やら防除対策に心配りが必要となってきましたがいかがお過ごしでしょうか。今号は農場で精力的に展開中の有機培地水耕開発実験のその後の状況を報告させていただきます。

有機培地実験ハウスに今年の2月始めに定植したトマト「桃太郎・桃太郎ヨーク」も5段階摘芯も終わり現

在1段目が色づいてきました。

この試験は、植物残渣を炭化して培地に再利用する環境循環型農法開発として昨年度愛知県の研究開発助成を受けて、実施しているものですが、様々な素材を炭化炉で炭にして、培地に漉き込み生育確認試験を展開しているものです。現在では区毎の有意差は、あまり感じら

れませんが、相対的に生育は良好で、収穫品は、水中でも玉が沈むずっしりとした糖度7~8と、甘みが乗ったものが採れています。収量測定を実施中ですので、結果がまとまり次第また、報告させていただきます。

着花段階(2001.2.18)

花芽をつけはじめ桃太郎・ヨークともに花質・花もちがいい



着果段階(2001.3.18)

桃太郎・ヨークともに草姿はやや中程度



現在の状況(2001.4.16)

桃太郎・ヨークともに一部の培地素材以外は良好な生育



栽培ベットの「とり」「だん」ベットを活用し、右表のように8区に素材の異なる植物残渣炭を漉き込み、有機培地水耕システムで栽培しています。今回基準培土となる素材にいいものが見つかり、植物残渣炭を漉き込んだそれぞれの試験区においても良好な生育状況を示しています。また、品種間、培地間での差異などは、一部の培地以外では大した差異は、まだ認められない状況です。  
(農場長 竹内 孝幸)

培地素材	栽培状況
雑木炭	良好な生育
雑木炭	良好な生育
もみ殻炭	尻腐れ傾向あり
コーヒー炭	やや玉伸びが悪い
コーヒー炭	やや玉伸びが悪い
トマト炭	良好な生育
トマト炭	良好な生育
トマト炭	良好な生育